

HUB 27th REPORT

証券コード 3030

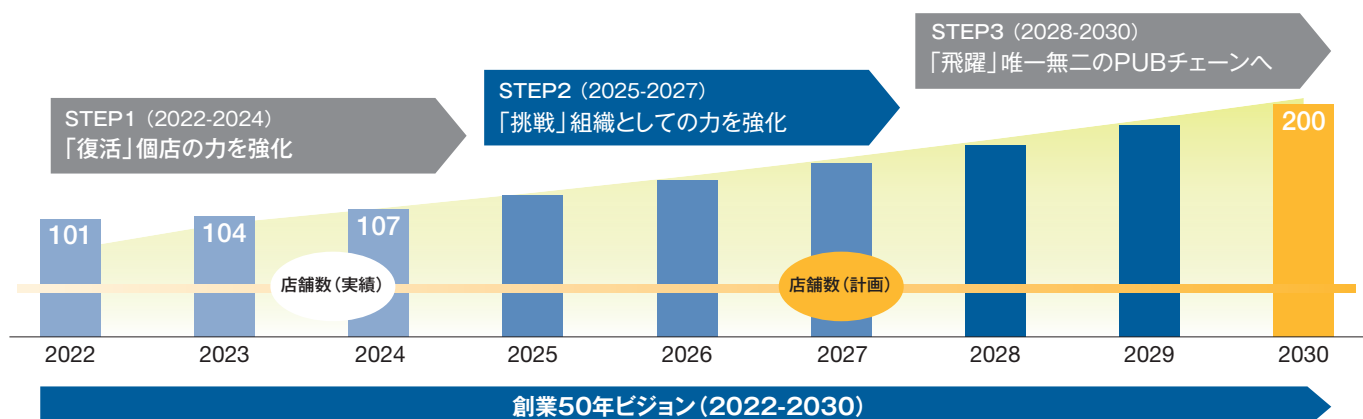
株式会社ハブ 第27期 決算のご報告 (2024年3月1日～2025年2月28日)



HUBエキマルシェ大阪ウメスト店

新中期経営計画の策定

詳細はこちらをご確認ください



STEP 1 中期経営計画(2022-2024)の振り返り

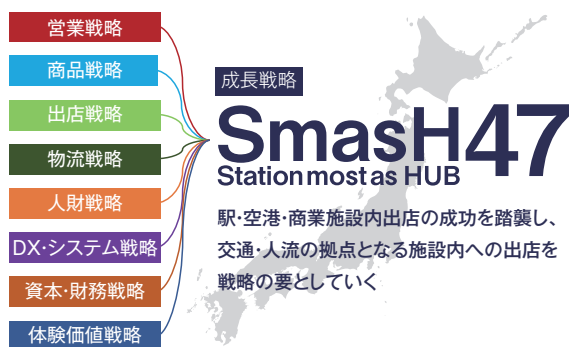
実行施策

2022年度	・コロナ禍で毀損した収益構造の立て直しを図る ・IPコンテンツコラボレーション企画開始
2023年度	・DX等によるキャッシュオンデリバリーシステムの進化 ・コロナ禍以降初、四半期において黒字化 ・3店舗出店好調(桜木町、羽田空港、札幌)
2024年度	・前年度の業務効率化を前提に、収益構造の完全復活を目指す ・人事制度改定 ・JR 施設店舗へ出店、好調に推移(博多、新潟、大阪)

中長期的に対応すべき課題

全国出店を支える 優秀な人材の確保と育成	客数増を伴う PUB事業の成長
ITシステムを活用した 更なる業務効率化	株主還元の持続的かつ 安定的な実施

STEP 2 中期経営計画(2025-2027)



交通・人流の拠点となる施設内への出店を戦略の要としていき、地域の企業との協業により成長を加速させる

成長戦略「SmashH47」を軌道に乗せることを軸に、今後の全国展開を見据えた体制を構築。

「客数増」を挑戦のキーワードとして、ターゲットを絞ったマーケティングを実行し顧客とのエンゲージメントをより強固にしていく。

処遇改善により、従業員の満足度を向上させ、優秀な人材の確保と定着を組織の活性化に繋げていく。

持続的な成長に向けて

- ▶ 来店動機創出からエンゲージメントへ繋ぐ
- ▶ 2030年度に向けて段階的な人事制度改訂による処遇改善を計画
- ▶ 安定的かつ継続的な株主還元を確実に実施していく

事業拡大を追求する 「TRADE ON」の実現で 新たな可能性の扉を開く

代表取締役社長
太田 剛

2025年2月期の総括

2025年2月期におけるわが国経済は、個人消費が持ち直し、インバウンド需要の増加を受け、緩やかな回復基調でありました。一方で物価高を背景としたあらゆるコストの上昇を伴い、依然として厳しい経営環境が継続しております。

当社は「中期経営計画(2022-2024)」をコロナ禍から「復活」する期間とし、経営を推し進めてまいりました。その最終年度となる当期におきましては「完全復活」を年度方針に掲げ、コ

ロナ禍前の業績水準、更なる生産性向上と従業員の処遇改善に取り組んでまいりました。また、駅・空港・商業施設内への出店を推進する新店戦略「SmasH47」を掲げ、ターゲットを47都道府県に拡大し厳選した200店舗体制の構築を目指してまいりました。

当期の営業におきましては、スポーツ放映のコンテンツを拡充し、英国プロサッカーリーグ「プレミアリーグ（イングランド1部）」、ラグビー代表戦「シックス・ネーションズ」等、通常の営業時間外にも人気コンテンツを放映することで、多くのお客

様にご来店いただくことができました。また、IPコンテンツとのコラボレーションにおきましては、コンテンツ企画数の拡大に注力し、新たな顧客層へアプローチいたしました。加えて、インバウンドのお客様に来店していただくため、メンバーズシステムを活用したマーケティング活動や、ホテルを起点とした販促活動を行いました。

メニュー施策につきましては、HUB・82両ブランドにおいて、継続する仕入れ価格の高騰を受け、ブランドメニュー改定に伴う価格改定を実施しております。これによって上昇傾向にあった売上原価率を前期と同水準に留めることができましたが、客単価が上昇する一方で客数が前期を下回る結果となり、今後の大きな課題の一つと捉えております。進行期におきましては客数増加施策に注力し、当社の「週刊誌価格」へのこだわりを改めてお客様に認知いただき、一杯でも気軽に立ち寄り、仲間との会話を楽しめるコミュニケーションの場としての利用を増やしていきたいと考えております。

また、当中期経営計画では売上高の回復を図る一方で、生産性の向上による収益構造の変革にも取り組んでまいりました。当期におきましては、生産性の定量的な目標として定めた人時売上高6,800円・人時生産性4,800円を達成することができました。サービスレベル及びお客様の体験価値を損なうことなく、店舗オペレーションの省力化やデジタル化を実現させるため、様々な試行錯誤と議論を重ね、着実に成果を出すことができたと評価しております。

新規出店につきましては、2024年3月に九州の玄関口であるJR博多駅前に「HUB博多筑紫口デイトスアネックス店」、2024年5月に当社のオリジナルビール「HUB ALE」を醸造いただいているエチゴビール株式会社とのコラボレーション店舗「HUB Echigo Beer PUB CoCoLo新潟店」(新潟県初出店)をJR新潟駅に、2025年2月にはJR大阪駅西口改札すぐに「HUBエキ

マルシェ大阪ウメスト店」を出店し、店舗数は107店舗となりました。

これらの取り組みの結果、当初の業績予想に対して、残念ながら売上高及び営業利益は未達となりましたが、経常利益・当期純利益につきましては予想を上回ることができました。5年ぶりに年商100億円を突破し、外部環境が厳しい中でも利益を確保することができたことで、当社はPUB事業継続の挑戦権を勝ち取ることができたと考えております。

中期経営計画(2025 - 2027)

当社は「挑戦」をテーマに掲げた「中期経営計画(2025 - 2027)」を策定いたしました。その初年度である2026年2月期は、「TRADE ON～矛盾を乗り越え、新たな可能性の扉を開く～」を年度方針に定め、相反する困難を乗り越えながら新たな可能性を追求する挑戦を続けることで、英国風PUB事業の更なる発展を目指してまいります。

新店戦略「SmasH47」を成長戦略の軸に据え、交通・人流の拠点となる施設内への出店を、47都道府県すべてを対象に推し進め、当社の事業拡大に繋げていきます。そのために全国展開を見据えた物流の構築、人財の確保と育成、既存店の客数回復、更なる生産性の向上を進めてまいります。これらの課題を厳しい事業環境の中で乗り越えるために、何かを諦めることで成果を得るTRADE OFFの取り組みではなく、アイデアや工夫、時にはシステム化により矛盾を乗り越える「TRADE ON」の実現が当社の新たな可能性の扉を開くと考えております。

進行期においては、2025年4月にJR千葉駅改札内にJリーグチーム ジェフユナイテッド市原・千葉とのコラボレーション店舗「HUB JEF UNITED PUB ペリエ千葉エキナカ店」を出店し、2025年夏にはJR宮崎駅に「HUBアミュプラザみやざき店(仮称)」(宮崎県初出店)の出店が決定しております。初の改札内出店、宮崎県初進出と当社におきましては「挑戦」となる出店を成功させ、地域の皆様に愛される店舗となることを目指してまいります。

株主の皆様へメッセージ

当社は今後も、英国風PUBを通じ、「感動文化創造事業」を展開することによって株主様、お客様、お取引先様、従業員のすべてのステークホルダーがポジティブになる「場」を提供してまいります。英国PUB文化を日本に普及させることで日本の暮らし・社会をより一層豊かなものにすることを目指し、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

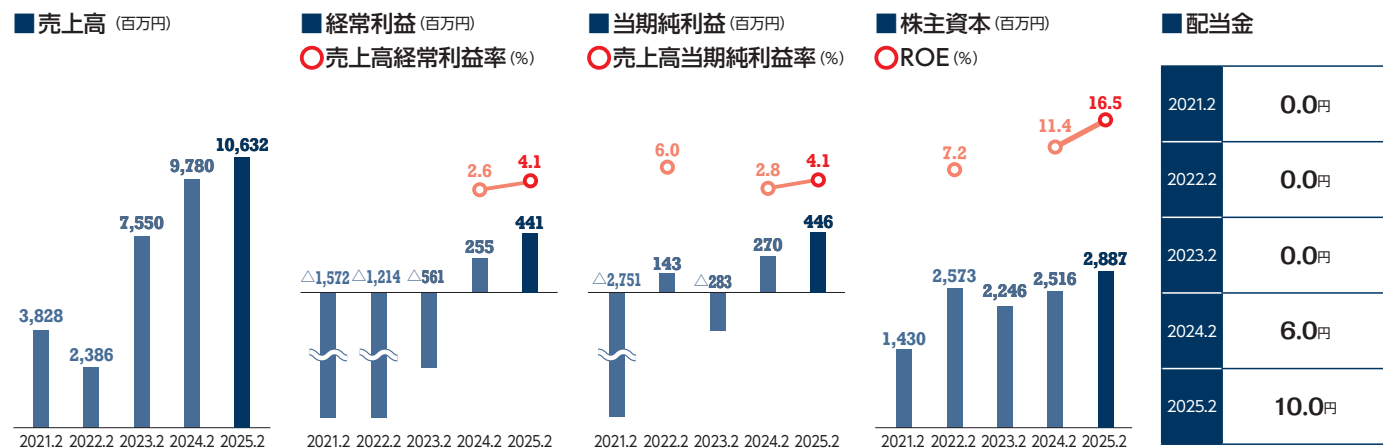
今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

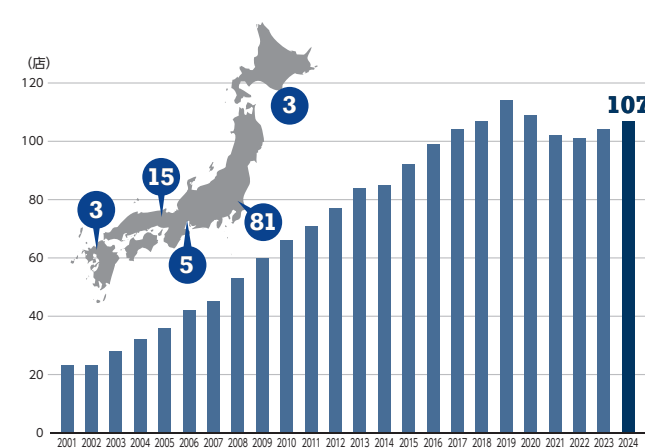
詳細な財務データはこちらをご覧ください。

株式会社ハブ

検索



店舗数





HUBとは「車輪の中心」 転じて、人の集まるところ

仕事を終えたビジネスパーソンが集まってくる。
ビール片手に、つまみはフィッシュ&チップス。
2杯目はギネスにしようか？ ハブエールにしようか？
おしゃべりに興じ、音楽に耳を傾け、
気の合う仲間たちと過ごす夜はあっという間に過ぎていく。
年齢も職業も性別も違う人々が自由に集まり、
それぞれの楽しみかたで素の自分に戻れる場所。
それが、英国風PUB HUB（ハブ）です。



「大人の為のセカンドハウス」 「地域密着の街角英国PUB」

英国PUBの「PUB」とは、MY HOUSE（我が家）に対する
PUBLIC HOUSE（みんなの家）の略になります。
ここではうまい酒を飲むもよし、気の合う仲間とおしゃべりするもよし、
仕事帰りに素の自分に戻って、一人静かにくつろぐもよし。
まさに「大人の為のセカンドハウス」として地域に必要とされるスペースです。
年齢も職業も性別も関係なく、みんなが普段着のまま、
気軽にリラックスして過ごせる、アットホームなおアスをお約束します。

HUB Information

新規出店店舗のご案内 成長戦略「Smash47」の推進

●HUBエキマルシェ大阪ウメスト店

再開発の進むJR大阪駅の西口エリアに開業した商業施設「エキマルシェ大阪ウメスト」への出店となります。全117席の広々とした店内で、ランチからディナーまで幅広くご利用いただけます。



●HUB JEF UNITED PUB ペリエ千葉エキナカ店

JR千葉駅の改札内に出店した、Jリーグチーム ジェフユナイテッド市原・千葉とのコラボレーション店舗です。店内のモニターでは同チームの試合を放映しているほか、当該店舗のみのオリジナルメニューの提供を行っています。



●HUBアミュプラザみやざき店（仮称）

JR宮崎駅にある「アミュプラザみやざき ひむかきらめき市場」への出店を予定しています。この出店は宮崎県への初出店となります。

2025年夏OPEN予定

スポーツ放映コンテンツを拡充

顧客体験価値向上と新規集客のため、スポーツ動画配信サービス各社と提携し、スポーツ放映のコンテンツ多様化に取り組みました。世界的に人気のある欧州プロサッカーリーグやラグビー日本代表戦などのコンテンツを追加していくことで、深夜帯の集客やインバウンドのお客様の来店動機創出に繋がりました。



HUBのサステナビリティ

地方創生の取り組み

首都圏HUBを拠点に 地域の魅力を発信

ANAあきんど株式会社と協力し、地域の魅力を発信するフェアを実施してまいりました。当年におきましては、北海道 函館市・徳島県 鹿児島県北薩摩地域をテーマに、地産品を使用したメニュー開発や販売、観光広報活動などに取り組み、多くのお客様にお楽しみいただきました。



会社概要（2025年2月28日現在）

商号	株式会社ハブ（英訳名 HUB CO.,LTD.）
本社	東京都千代田区外神田三丁目14番10号
設立	1998年5月28日（創業：1980年3月）
資本金	1億円
従業員数	306名（他、臨時雇用者数 462名）
発行済株式数	12,577,918株（自己株式252,282株を除く）
株主数	12,193名
大株主	株式会社 MIXI 20.02% ロイヤルホールディングス株式会社 14.83% 株式会社久世 8.73% みのりホールディングス株式会社 6.60%

役員（2025年5月28日現在）

代表取締役社長	太田 剛	社外取締役	西尾 修平
常務取締役	井上 泉佐	社外取締役	松本 里絵
常務取締役	高見 幸夫	常勤監査役	石塚 義一
取締役	土屋 雅嗣	社外監査役	柳堀 泰志
社外取締役	西野 敏隆	社外監査役	太田 慈子

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
公告方法	電子公告（ https://www.pub-hub.co.jp ） ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先（連絡先）	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-49-7009

- 住所変更等のお申し出について
お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未支払配当金のお支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。